

令和2年度 福井県中学生卓球大会 実施要項

- 1 主催 福井県卓球協会
- 2 共催 敦賀市卓球協会・鯖江市卓球協会
- 3 日程 男子：令和3年1月9日（土）
女子：令和3年1月11日（月・祝）

＜練習開始 8：00頃，開会式8：45，競技開始 9：00＞
- 4 会場 男子：敦賀市総合運動公園体育館 敦賀市杳見149-1 (0770-23-6638)
女子：鯖江市総合体育館 鯖江市東鯖江3丁目6-10 (0778-51-3176)
- 5 競技種目 男女団体戦（5シングルス）
- 6 役員 大会長 八尾 正博（県卓球協会会長）
副大会長 真木 幸之（県卓球協会）
委員長 濱野 隆（中体連卓球競技部長）
副委員長 鈴木 啓介（武生二中）
審判長 徳永 剛基（中央中） 高村 光昭（開成中）
進行 山本 哲也（鯖江中） 橋本 尊幸（小浜中）
堀田 研二（小浜二中） 大崎 由賀（春江中）
伊東 寛泰（春江中） 濱下 恵理子（清水中）
鈴木 直士（武生五中） 竹澤 沙貴（至民中）
高岡 祐輝（開成中） 金林 優（森田中）
村田 裕介（気比中） 皆美 修司（光陽中）
記録 山田 晃大（松陵中） 手鹿 大悟（朝日中）
会場 水上 征治（栗野中） 福山 亮司（中央中）
表彰 西野 尚博（勝山中部） 荻野 響流（万葉中）
笹本 浩太郎（南越中） 堀田 彩夏（名田庄中）
総務 堀田 有志（松陵中） 小川 真也（小浜二中）
- 7 競技方法 予選リーグ&決勝トーナメント

- 8 競技規則
- ・ 現行の日本卓球ルールを適用する。
 - ・ 日本卓球協会のゼッケンをつけること。
 - ・ ニッタク試合球。
- 9 参加資格 福井県内中学校の1、2年生
- 10 参加料 1チーム2000円（当日受け付けます）
- 11 参加申込先 「メール」のみ受け付けます。
- ※ファイル名に「学校名&男女」を明記して下さい。
- yippeecomme@yahoo.co.jp <松陵中学校 堀田有志 宛>
- 12 申込締切 12月11日（金）必着 **【厳守】**
- ※締切後の申込では大会に出場できないこともあります。ご了承下さい。
- 13 前年度優勝 男子 武生第二中学校 女子 小浜第二中学校
- 14 その他
- ・ 本大会の優勝チームは、3月27日（土）～28日（日）に島根県で行われる「第22回全国中学選抜卓球大会」への出場権を得る。
 - ・ 団体戦への合同チームの出場を認める。ただし、予選リーグのみのオープン参加とする。
 - ・ 参加できる生徒は、選手8名、マネージャー1名、審判要員3名までとする。

県中学生卓球大会競技上の注意

○本大会は令和2年度現行の日本卓球ルールおよび細則に基づいて行う。ただし、一部本大会独自のルール・運営方法を優先する。

☆「競技方法について」・・・要項・タイムテーブル参照

- ・団体戦は5シングルスとする。
- ・予選リーグ，決勝トーナメントともに全試合3点先取とする。ただし，3チームリーグについては5番まで行う。（記録上は3点先取）
- ・男女とも各試合原則、予選リーグは2～3台進行、決勝トーナメントからは5台進行とする。

☆「競技規則について」・・・要項参照

- ・大会使用球はNittaku とする。
- ・ゼッケンを着用すること
- ・1マッチのゲームとゲームの間の休憩時間は1分間以内とする。
- ・外部指導者がアドバイザーとしてベンチ入りするときは，事務局から支給されたネームプレートを着用すること。
- ・タイムアウト制を適用する。（1マッチに1回 1分間以内）
- ・タイムアウトの要求は監督が優先。
- ・抗議については，団体戦は監督（監督不在の場合主将）に認められている。アドバイザーの抗議権は認められていない。
- ・ラケット，ラバーの整備については特に留意すること。（ラバーの破損等で不安な選手は試合前…朝のうちに審判長に確認をとる。）
- ・団体戦のユニフォームがそろっていないチームも参加を認めるが，そろえるように最大限努力する。

☆「その他」

- ・大会の参加が認められているのは以下の者のみである。
<団体戦：選手8名，監督，アドバイザー，マネージャー，審判要員（3名程度），大会本部役員 >
- ・試合中のアドバイスは「ベンチからのみ」である。ギャラリーなどから声をかけたりすることを禁じる。
- ・競技フロアでの応援は座っての応援を原則とする。
- ・会場内での「フラッシュ撮影」を禁じる。
- ・ゴミは各自での持ち帰りを徹底する。（キャプテンは最終確認を忘れない。）
- ・各中学校で手指消毒用のアルコール等を持参し、適宜消毒する。